

クリスタル洗面ボウル SLAVIA CRYSTAL

スロヴァキア製 最高級品

長野県のマーダック・インターナショナルは、スロヴァキア製最高級クリスタル洗面ボウル「SLAVIA CRYSTAL (スラヴィア クリスタル)」の総販売元として世界各地で同製品の販売を行っており、昨年9月から日本の販売を開始した。

生産はスロヴァキアのガベル地方にあるカッティング工場で行われており、100%職人の手作業によるカッティングで製造されている。この地方のガラス作りの歴史は14世紀ごろまでさかのぼり、本格的にクリスタルガラスの製造が始まったのは18世紀半ばといわれている。チェコスロヴァキア共和国時代には国营工場にもなり、ボヘミア



マーダック・インターナショナル

和をモチーフにしたサクラ

ングラスの産地として世界的にも有名になるが、1993年の分離独立後はボヘミアングラスの生産地を名乗ることができなくなり、チェコの下請けとして働く苦難の時代が続いた。

先相代々カッティング工場を経営してきたファミリー(コダーイ)ファミリーは、スロヴァキアオリジナルの製品を創りたいと切望していた折にマーダック・インターナショナルと出会い、両社の共同開発で5年の歳月をかけた本製品を完成にまでこぎ着けた。

紆余曲折を経て完成し、SLAVIA CRYSTALだがその最大の特長は言うまでもなくその輝きを演出するカッティングにある。元来カッティングの職人の多くはスロヴァキア側に在籍しており、ボヘミアングラスを世界的なものにしたその技術が余すところなく本製品に発揮されている。また、クリスタルガラス製品の中では世界でも屈指の大きさである上に楕円形をした洗面ボウルに対し、



精緻なカッティングパターンを均等に彫刻することとは至難の業であったが、スロヴァキア熟練の職人が2人掛かりでカッティングすることでこれを実現した。

彫刻のパターンはチェコスロヴァキア伝統のカッティングである「VICORA (ヴィクトリア)」や「ELIZABETH (エリザベス)」、和をモチーフにした「SAKURA (桜)」など10種類を取りそろえており、これらのカッティングに対応するガラスやトレイなどの各種クリスタルアクセサリーも用意している。

現在、国内大手有名旅館でも導入を予定しており、海外ではドイツ系のケンピンスキー・ヒベルンスカ・プラハやスロヴァキアのシャトー・ペラといったラグジュアリーホテルのスイートルームで既に採用されている。

同社では、16日から東京・有明の東京ビッグサイトで開催される「ホテル・ス・ショー」で、このSLAVIA CRYSTALを初出展する。ブース名は「スラヴィア クリスタル」で、東4ホールの「4-V03」にブースを構える。

シャトー・ペラに導入されたヴィクトリア

問い合わせ先
(有)マーダック・インターナショナル
 スラヴィア クリスタル事業部
 〒395-0151 長野県飯田市北方2865-18
 ☎0265(43)2010
 会社HP <http://www.mardak.jp>
 製品HP <http://www.slaviacrystal.com>